

## 陸士長が母校で職業講座 ～先輩としてアドバイスでき、素晴らしい経験ができた！～



高校1、2年生に対し、自衛隊について  
説明する根本陸士長

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、3月16日（土）、横浜高等学校（横浜市金沢区）で実施された「卒業生による職業講座」への参加者を支援した。これは、「社会で活躍している卒業生の話を聞き、望ましい「職業観」「勤労感」を育むこと」を目的に実施されたもので、5人の卒業生が学校から招かれた。自衛隊からは、陸上自衛隊通信教導隊（久里浜）より根本 雄也陸士長<sup>ねもと ゆんや</sup>が2009年の卒業生として参加した。

当日、会場には在校生1、2年生の全クラス約400名が集まり、一問一答形式で行われた。生徒からは多くの質問が上がリ、「高校時代は何をしていましたか」「仕事の内容を教えてください」等の他に、「今何が楽しいですか」の質問に対して、「国を守るという偉大な使命感を感じることができるといふ充実感を持っていること。これは部隊指揮官の度重なる精神教育で改めて認識しました」等と、自信と誇りを漲らせながら、答えている根本陸士長の姿が印象的だった。今回広報官が後ろの席に位置して、その都度サポートできる態勢をとっていたが、まったくその必要はなく堂々としていた。また根本陸士長からは、「このような学校行事で教育の目的達成に寄与でき、生徒に先輩としてアドバイスできたことは、素晴らしい経験になりました」と話してくれた。

上大岡募集案内所は、「今後もこのような学校行事を支援して良好な関係を維持するとともに、自衛隊を積極的にアピールし、募集成果に繋いでいきたい」としている。

## 薬科大の合同企業説明会で航空自衛隊薬剤官が制度説明に尽力



ブースを訪れた、学生に熱心に説明する  
広報官と支援に来た中村2空尉（左）

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、3月17日（日）横浜薬科大学（横浜市戸塚区）の合同企業説明会に参加した。これは、毎年募集解禁後のこの時期に同校で計画される説明会で、多くの企業の中に防衛省・自衛隊としてブースを出した。

今回は同校の卒業生で、航空自衛隊 入間基地業務群衛生隊薬剤衛生資材班<sup>なかむら ゆり</sup>の中村 有里2空尉も航空自衛官の制服姿で支援に訪れ、花を添えてくれた。

当日大学に到着すると先生方がブースを訪れてくれて、彼女の成長した姿に驚くとともに、昔を懐かしみながら会話が弾んでいた。会場では、約130社の企業がブースを展開し、自衛隊ブースにも3年生から5年生の16名が訪れた。

中村2空尉は、医療関連機関や幹部自衛官キャリアアップの概要、更に薬剤官になるためのタイムスケジュール等を丁寧に説明していた。学生からは、入隊後の業務内容や薬剤官以外の幹部の仕事についての質問が出る等、自衛官としての仕事にも興味があることが窺えた。中村2空尉は、今回の説明役が初めてながらも、事前に質問が予想される資料を準備する等して、訪れた学生の不安解消に熱心に対応する姿が印象的だった。また、自衛隊のイベントに興味を持っている学生や、将来自衛隊の仕事に就きたいと考えている学生も居て、広報官も経験談等を交えながら真剣に説明していた。

上大岡募集案内所は、「今後も学校説明会でこのように現役隊員の支援を得るなどして工夫を凝らしながら学生が興味を引く説明に努め、募集成果の向上を図っていききたい」としている。